

2014年 夏

# 学習院大学輔仁会ホッケー一部女子 20周年



## 創設20周年を迎えて

今から20年前、私達は数人でホッケーを始め、やるなら本気で、そして絶対続けると決意しました。桜杖会、学内のみならず他大学の監督コーチや諸先輩方にも多大なるご支援とご指導を頂きました。

三部からのスタートでしたが、関東一部を目指し、チーム一丸となって大勢の人を巻き込みながら突き進みました。全員が同じ思いを抱いたからこそ、目標を達成できたのです。

その後も組織として更なる発展を遂げ、このように20周年を無事迎えることができたのは非常に感慨深く、支えて下さった全ての皆様に感謝しております。今から何十年かの後には、OGチームであるエヴァンタイユを活性化し、女子部や初等科にもホッケーを広め、素晴らしいグラウンド環境でプレーしている強い学習院大学ホッケー一部の姿を全員で思い描き、現実にしようではありませんか。

(初代 大嘉康子 旧谷村)



## 7月6日『20周年を祝う会』

7月6日、学習院大学輔仁会ホッケー部女子創設20周年を祝う会を開催。午前は現役時代を思い出し、年代別ゲーム大会。午後は沢山のお世話になった方々にもお集まり頂き、祝賀会を行いました。



### 年代別ホッケー大会（午前）

同期と15年振りのプレー。キレは無いけど、心は変わらず燃えた！最高に楽しかったです。

（3代目 矢ヶ部恭子 旧石井）

長い間ホッケー部から離れていましたが、いくつになっても会えばあの時のまま。感謝！

（4代目 佐藤さつき 旧廣瀬）

卒業から11年。後輩の多さと自分のプレーでそれを実感する1日でした。ホッケー部女子の歴史の一部であることを心から誇りに思いました。

（6代目 齊藤さやか 旧堀川）

苦楽を共に経験した皆さんと今でも楽しくホッケーでできることに感謝！何年経っても自慢の場所です。

（11代目 初川慧子 旧根上）

あの頃を思い出しながら必死に、そして心から楽しみました!!ホッケー部女子をたくさん味わい本当に幸せな時間でした！

（12代目 小野祐子 旧登地）

想像以上に大所帯で世代を越えたホッケー愛を感じました！次の開催が楽しみ。

（14代目 篠原聡美）

いくつになっても先輩に憧れ、後輩からはパワーをもらう！さすがホッケー部、とても充実した1日でした。

（15代目 山田咲季）

世代を超えて楽しめる、ホッケーの魅力を改めて実感しました！ホッケー部の歴史と絆が凝縮された1日でした！

（17代目 西澤絢紀）

### 「挑戦を忘れず」

1期生の衣奈が頑張って編集した創部6年史を久振りに読み返しました。私が携わった6年でもあり、いろいろと思い出されました。発刊直前に渡米、その後欧州に転勤、今は名古屋なので女グラとは縁遠くなっていますが、いつも活躍を見守っています。

6年史の寄稿文に、今後も山谷があるだろうが規律と組織力を維持できれば問題ない、と記して後を託しました。後輩達が進化しながら実践していることを嬉しく誇りに思っています。

ただ、新たに高校、OGチームも作って磐石の態勢を構築してほしいともお願いしましたが達成されていません。新しく事を興すには、勇気と熱意そして高い志を要しますが、グラウンド問題とともに皆で“熱く”考えてもらいたいです。20年前のように、、、

（初代監督 高田良太）





## 祝賀会（午後）

### 開催にあたり

創設20年を迎えられたことを祝うと共に、これまで支えて下さった方々への感謝の意を表したく、会を開く事に致しました。学外に目を向けますと、本院と同時期に立ち上がったチームのうち、廃部になったり部員不足でリーグ戦に参加できなかったりしている学校も少なくありません。本院の20年の存続は当然の事ではないと痛感し、その差はOB・OG現役がお互いを尊重し支えあい、いざという時に一丸となる事が出来るか否かにあると私は感じています。OGも100名を越え大所帯になりました。今後も50年100年と続いていくよう、この学習院らしさを全員で継承していきましょう。

（3代目 大原知子）



『釋洋一会長よりご祝辞』



『岡部隆則前監督と・・・』

### 部旗贈呈

女子部創設20周年を迎えるにあたり、OGから現役に、「形に残るもの」を贈ろう、という話が持ち上がりました。そこで贈呈品として決まったのが「部旗」です。部旗は、時代を超え、私たち女子ホッケー部を見守ってきてくれています。今後、初代の部旗に加え、新たに贈った部旗も、現役選手の頑張り・活躍を見つめ、学習院大学ホッケー部女子の歴史を刻んでいってほしい、という願いを込めています。是非会場に足を運んでいただき、部旗と一緒に現役選手を応援していただけたらと思います。当日はOG大原知子さん（3代目）より、現役主将の三島彩加さん（4年）へ贈りました。秋シーズン、会場に掲げられるのが楽しみです。（9代目 永井いづみ）





## 『20年の歩み』

### 創設当初

試合ができる人数を揃えて創部したはずでした。なのに気づけば、残った仲間は8人。桜杖会という伝統ある組織の一部として活動できることにはなったものの、ホッケーを会得することと同じく、後輩たちが「入りたい」と思える魅力的な組織を作ること、部を存続させる上で大切なことなのだ、このとき私たちは痛感しました。お互いに高め合える仲間となること、礼節のある行動、OBの方々や男子チームへの感謝。20周年式典では、初の1部昇格を果たした創成期の4学年が心を合わせて築いたチームの精神が、丁寧に確実に、後輩たちに受け継がれていることを実感することができました。

(初代 桂彩子 旧衣奈)



『初代高田監督と初代部員』

### 関東一部での戦い

先輩方が戦ってきた1部というフィールドは、私たちにとって当たり前の場所でもあり、絶対に死守しなければならない場所でもありました。

年々セクション校が増えていくなか厳しい戦いばかりでしたが、各校の一流選手たちと試合ができることが嬉しかったのを覚えています。ドリブルがうまい選手の前では自分がコーンのように簡単に抜き去られたり、PCを取られて何度も一番旗としてダッシュしたり(苦笑)大差で敗戦することもありましたが、1部で戦うことができたからこそ、もっとうまくなりたいと思い、ホッケーの楽しさを知ることができたのだと思います。

(8代目 諸佳美)



### 初出場!王座決定戦 (2014年)

今年は春季リーグにおいて1部5位・王座初出場を果たすことが出来ました。これまで先輩方と積み上げてきた歴史や、悔しい思いをした経験があったからこそ、このような大きな目標を達成できたのだと思います。

王座では初戦敗退という厳しい結果でしたが、自分たちのホッケーを出し切り、勝負を楽しむことができました。

20周年式典では先輩方との繋がりの深さを改めて感じました。これからもホッケー部の和を大切に、みなさんから愛され応援されるチームでありたいと思います。

(18代目 三島彩加 現役主将)



『2014年 王座決定戦 vs. 北海道大学』

### 【編集後記】

何ヶ月も前から準備を進めて来た懇親会を無事に終え、報告書も完成させました。楽しんで頂けたでしょうか？

記念品としてお渡ししたハンカチ。右下にはエヴァンティユ(桜杖会OGのマーク)の扇をあしらいました。いつまでも学習院大学輔仁会ホッケー部の一員であることを忘れずにいて欲しいという思いを込めて…。これからも共に現役をそして桜杖会を盛り上げていきましょう。

(3代目 桜井奈々子)

